

平成25年 9月 2日
中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

排水機場現地研修会を開催します！

木曽川上流河川事務所では、管内の自治体職員を対象に排水機場の設備に対する理解をより一層深めて頂くため、早田川排水機場において現地研修会を開催します。

1. 概要： 本研修会は、排水機場の運転操作を委託されている方々（20名程度）に集まって頂き、設備に対する正しい理解と技術力の向上を図ることを目的に、ポンプの基礎知識や設備維持管理の重要性及び長寿命化対策について学ぶと共に、実際にポンプを動かす管理運転を見学します。また同時に、排水機場構内において、災害対策車両（排水ポンプ車、照明車、対策本部車）の展示を行います。
2. 開催日時：平成25年9月5日（木） 10時00分～11時30分
3. 開催場所：早田川排水機場（岐阜市則武西1丁目9-1）
※岐阜市立島中学校のとなり
4. 解禁：指定なし
5. 資料：別途添付
6. 配布先：岐阜県政記者クラブ

【問い合わせ先】

木曽川上流河川事務所（岐阜市忠節町5-1）

Tel 058-251-1325

Fax 058-251-6581

施設保全対策官 岡 智明

管理課長 林 正順

◆施設の位置

岐阜市則武西1丁目9-1（岐阜市立島中学校のとなり）



◆施設の概要

そうでんがわ

早田川排水機場

全体計画排水量：20m³/s（5m³/s × 4台）

用途：内水排除

主ポンプ：立軸斜流二床式

口径：1,500mm

主原動機：ガスタービンエンジン（1,2,4号）
ディーゼルエンジン（3号）



【排水機場全景】



【排水機場屋内】

さいがい げんぱ かつやく さいがい たいさく しやりょう 災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車 (たいさくほんぶ車)



げんち たいさく ほんぶ かつやく ◆現地対策本部として活躍

車体を拡幅した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車 (はいすいポンプ車)

やく から ◆小学校のプールを約10分で空に

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本(30m³/分)の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約25時間稼働します。



照明車 (しょうめい車)

きんきゅうやかんさぎょう あんぜん こうりつ かくほ ◆緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。



国土交通省 中部地方整備局
木曾川上流河川事務所